

紀州まるごとツアー

7月28日(土) ~ 7月31日(火)

IN 和歌山県立潮岬少年自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発 石拾い	施設到着 オリエンテーション	振り返り
2日目	工作(御守りづくり) プール	トルコ学習 釣り体験	海鮮! BBQ 振り返り
3日目	くじらの博物館見学	イルカスイム体験	外食 振り返り
4日目	清掃・施設出発 白良浜遊び	お土産購入タイム メロン狩り・食べ放題	

一日目： 今年はずっと【お楽しみキャンプ】を開催しました。車で移動しながら紀州和歌山県の魅力を堪能していくツアーです。台風の影響で初日の予定を変更し、潮岬まで向かう形になりました。京都で全員集合し出発しました。初めは物静かでしたが、徐々に口を開き始め、すぐに盛り上がりました。時には盛り上がりすぎて大声を出してしまい、怒られてしまう場面もありました。昼食は『志原海岸』という道の駅で済ませました。ここでは、昼食ともう一つ大きな目的があります。この海岸の石はどれもが角が取れ、丸い形をしています。それを使って毎晩振り返りを行います。どの石がいいか探し、キレイな形や模様をした石を見つけた時はとても嬉しそうでした。施設へ到着し、オリエンテーションを済ませると、初日の夕食「ミートスパゲティ」を作りました。野菜を切る係、挽肉などを炒める係、パスタを茹でる係と分担したので、手際よく進み、あっという間に完成しました。味も良く、皆大満足の出来具合でした。片付けの後は振り返りです。毎日、一番印象に残った場面を石に描いてもらいました。移動がほとんどだった日だからこそ、しっかりと振り返り、自身の中での印象を確認しました。

二日目： 台風の心配をしていましたが、影響は少なく、風は穏やかで、波はそれほど立ってはいませんでした。朝食を済ませると、午前中は屋内で工作をしました。トルコの御守り『ナザール・ボンジュウ』を作りました。小さいパーツが多く、手先の器用が試されます。色合いも自身で決めるので、何度も組み合わせ作っておられました。工作の後少し時間が余ったので、施設のプールで遊びました。昼食は手慣れた動きですぐに作りました。冷やし中華がとても美味しかったです。午後からは近くの紀伊大島へ向かいました。トルコの船が難破した場所へ向かい、歴史探訪をしました。1日目から「トルコ」について何度か出て来ているので、皆の心にもしっかりと刻まれており、笑顔の中にもどこか感慨深い様子が伺えました。初日に和歌山マリーナシティに行けず、釣りが出来なかった為、近場の堤防に行き、釣りを体験しました。そこで、4匹の魚が釣れたのですが、全てが「キタマクラ」と呼ばれるフグで、食べると非常に危険と職員さんから聞き、結果食べられる魚は0匹でした。まさかの結果に一同驚きつつ、笑い合いました。夜はBBQを行いました。キャンプ場で食べたので、【やっとキャンプの気持ち】になれたと仰っていました。振り返りでは、ほとんどが釣りの事を書いておられました。



三日目：今日は【太地町】へ遠足の日です。朝から動きが鈍く、出発が1時間遅れました。午前中は「くじらの博物館」にてイルカやクジラと触れ合いました。イルカショーを見物し、博物館内の展示物を見ている時にメンバー同士が喧嘩を始めました。きっかけは些細な事なのですが、それに対しても周りは無関心で、止めようとも仲裁に入ろうともしませんでした。クジラショーとカヤックにて餌やり体験を済ませ、博物館を後にしました。昼食後も動きは遅く、自分の事だけをやればいいという意識が見られました。荷物運びも手伝おうとされるメンバーがおらず、その状況を見かね、みんなと話し合いを行いました。各メンバーにこれまでを振り返っていただき、自分のマイナスな行動や発言を話していただきました。午後はイルカと一緒に泳ぐプログラムです。現地スタッフの方にイルカの事や触れ合い方を教えていただきました。初めはイルカの大きさに驚いていましたが、慣れ始めると積極的にイルカと一緒に泳がれていて、イルカの頑張りに感化されたように思えました。施設に戻り、片付け、一息つき、最後の夕食ということで、外食をしに串本町の市街地へ向かいました。これまでずっと自炊をしてきたので、一同喜ばれていました。戻ってくると気持ちは上々で、振り返りでは皆力の入った絵を描いておられました。明日はお世話になった施設を出発し、色々な箇所を経由しながら帰ります。

四日目：朝から片付けや荷造りに追われました。朝食はカレーで体力をしっかりと蓄えて施設を出発しました。二日目に行くはずだった白良浜へ弾丸で向かいました。白良浜の美しさや人の多さはみんなの想像を遥かに超えており、見ると驚きと感動に歓声が起こりました。白良浜では楽しめなかった事を短時間でしたが存分に楽しみました。白良浜を出発すると、『とれとれ市場』にてお土産購入です。こちらあまり時間がなかったのですが、欲しいものに目星を付けて、考えて購入されていました。午後のプログラムはメロン狩りです。楽しみにされていた方も多く、メロン畑に行き、お好みのメロンを狩りました。狩ったメロンはきちんと梱包され、お持ち帰りです。メロン狩りが終わるとお待ちかねの食べ放題です。毎日「メロン！」と叫ばれていた方もおられる程、皆楽しみにされていました。目の前によく冷えたメロンが運ばれてきて、美味しくいただきました。心も体も大満足の時間でした。帰りの車内は疲れが溜まっておられたのでしょうか、ぐっすりと休まていました。あっという間の四日間でした。台風の心配がありましたが、大きな問題もなく、全てのプログラムを行う事が出来ました。

<キャンプ総括>

三年ぶりにお楽しみキャンプが復活しました。“楽しい”プログラムを盛り沢山に企画しているため、あっという間に一日が過ぎていきます。また少人数なので、メンバー同士の交流も深くなる事が魅力でもあります。しかし、同時に【慣れ】も起こってくるので、そこから様々な問題に繋がります。今回は三日目にトラブルが起こりました。その時、私から皆に伝えました。「プログラムだけを楽しみにきているなら家族と来なさい。」こちらから提供出来るのは「出来上がった楽しみ」だけです。楽しいプログラムとプログラムを繋げる『本当の楽しみ』は皆で作っていかねばなりません。お楽しみキャンプはプログラムの楽しみが目立つ分、そこを忘れ、疎かにしがちです。キャンプの根本となる楽しさの意味、成り立ちを伝える事を我々も疎かにしないように来年もお楽しみキャンプを実施したいと考えています。

(竹中 哲郎)

